

開始時間までもうしばらくお待ちください。

zoomの名前を「団体名 氏名」に変更するようお願いいたします。



第17回ふたば祭 総括 および 第72回銀杏祭 第1回総会

第17回ふたば祭総括資料は
HP(<http://ginnsai.jp>)からダウンロード可能です。

令和4年 7月6日(水)

大阪公立大学杉本キャンパス大学祭実行委員会

進行表

1. 第17回ふたば祭 全体総括
2. 第17回ふたば祭 収支決算報告
3. 第17回ふたば祭 企画局総括
4. 第17回ふたば祭 情報宣伝局総括

5. 第72回銀杏祭 テーマ発表
6. 第72回銀杏祭に関する諸連絡
7. 第2回総会に関する諸連絡
8. 【重要】連絡方法の変更について



第17回ふたば祭 全体総括

第72代委員長 平瀬暁人

1. 第17回ふたば祭 全体総括

(1) 日程

令和4年 4月16日(土)~4月17日(日)

大阪公立大学杉本キャンパス旧教養地区にて2日間開催



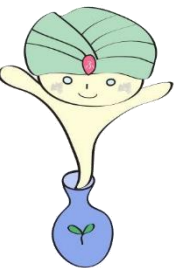
1. 第17回ふたば祭 全体総括

(2) テーマ

「YOU GO」

このテーマには

「融合(統合)した大学の新生と共に歩み始める」
「コロナ禍で失われた日常を取り戻すために歩み始める」
という2つの意味が込められています。



1. 第17回ふたば祭 全体総括

(3) 予算

前年度の第71回銀杏祭では、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、渉外企画の中止やパンフレットのデジタル化などによる予算削減等があったため、繰越予算は多く残っていた。

新型コロナウイルス感染症の影響でふたば祭が3年ぶりの開催となったこと、また、大学の統合に関わる変更のために、結果的に多くのお金を使うこととなった。



1. 第17回ふたば祭 全体総括

(4) 企画

- 4つのステージ（旧体育館ステージ、8号館ステージ、大音練ステージ、暁ステージ）を設けた。
- 旧体育館ステージ、8号館ステージ、大音練ステージでは、文化系サークルの発表などを中心により多くの来場者の方々に楽しんでもらえるようなステージ作りを目指した。



1. 第17回ふたば祭 全体総括

(4) 企画

- 暁ステージでは様々なジャンルに対応できるようなステージ作りを心がけ、多くの学生による出演やステージの参加もしてもらえた。
- 例年通り、課外活動団体による展示や販売等の教室企画も行い、課外活動の発表、活動の場を提供できた。



1. 第17回ふたば祭 全体総括

(5) 情報宣伝

- 新型コロナウイルスの影響で課外活動に制限がかかった時期があったため、看板等の設置数は例年と比べると減少した。
- 今年度のふたば祭では紙媒体とデジタルの2種類のパンフレットを用意することで、予算を削減しつつできるだけ多くの方に配布できるようにした。



1. 第17回ふたば祭 全体総括

(6) 外務

- パンフレットに関しては、デジタル化の影響もあり、携帯電話で閲覧することを意識してデザインした。フォント等もこだわりを持って制作を行った。
- ホームページに関しては、ふたば祭に関する資料をダウンロードできるように随時更新した。コロナウイルスの状況を鑑みてマニュアルを急遽変更することとなったが、更新事項SNSや杉本自治会(旧四者協)を通じて伝達し、多くの団体に情報行き届かせるよう努力したが、混乱を招いてしまった。



1. 第17回ふたば祭 全体総括

(7) まとめ

- 執行部を中心に企画、情報宣伝の2つの局を作り、その他に事務、協賛、施工、パンフレット、HPの計5つ専門職を置き運営した。
- 今年のふたば祭は新型コロナウイルス感染症に加え、旧教養地区内の工事区画が拡大したため、昨年度の第71回銀杏祭と同様の感染対策をしつつ、どのような方法で混雑を防ぎ新入生に楽しんでもらうかということが一番の課題であった。



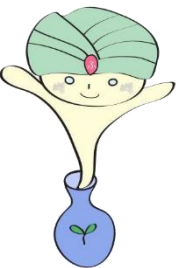
第17回ふたば祭 収支決算報告

第72代会計担当 奥長千尋

2. 第17回ふたば祭 収支決算報告

【収入】

第71回银杏祭からの繰越金	¥6,546,366
大学祭開催費(新入生協賛金)	¥0
大学運営費(出店団体協賛金)	¥53,000
企業・同窓会協賛金	¥80,000
決算利息	¥28
収入合計	¥6,679,361



2. 第17回ふたば祭 収支決算報告

【支出】

企画準備費	¥60,129
情報宣伝費	¥36,272
事務費	¥286,934
施工費	¥72,314
パンフレット印刷費	¥87,066
ホームページ諸経費	¥39,600
協賛諸経費	¥1020
支出小計	¥665,585
2022年度会計繰越金	¥6,013,809



2. 2022年大学祭 行事援助金決算報告

【執行支出】

施工費	¥169,093
発電機費	¥88,440
照明費	¥58,300
執行支出合計	¥315,833



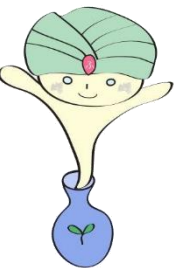
第17回ふたば祭 企画局総括

第72代企画局長 大原悠人

3. 第17回ふたば祭 企画局総括

(1) 意義

- 第17回ふたば祭にて行われるステージ企画、クラブ・サークルによるステージ発表、キャンパス内の空きスペースを使ったその他全ての企画を企画・管理・運営する。
- 新入生が本大学の雰囲気を理解し、今後の大学生活を楽しめるようにするためのふたば祭一端を担うこと、来場・参加したすべての人々に満足してもらうことを目的としている。



3. 第17回ふたば祭 企画局総括

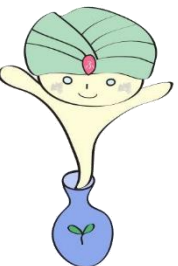
(2-1) 運営:企画局の構成

- 企画局長(1名)

全体総括、局管理(スケジュール、進行状況、企画所、当日の動き)、企画ハード面の構想・決定、学内団体との連絡、企画予算の決定、他局との連絡、企画予算の決定、他局との連絡、企画担当者の管理・補助、物品や備品の管理、企画ソフト面の構想・管理・運営

- 企画局員(16名)

各企画ソフト面の構想・管理・運営



3. 第17回ふたば祭 企画局総括

(3) 全体を通して

- 企画局は、より多くの人に楽しんでもらえるよう、多くの企画の準備を進めた。
- 今回は、楽しんでもらえるだけでなく、観客席の設置や、パーティーションの設置、アルコール消毒など、観客や出演者の方に安心していただけるようなステージ作りを心がけた。
 - ・今回は全日程天候に恵まれ、当日はタイムテーブル通りに進めることができた。



3. 第17回ふたば祭 企画局総括

(3) 全体を通して

- しかし、暁ステージの企画に想定よりも集客できなかったことが反省点である。この反省を無駄にしないように次回以降の大学祭の運営に活かしていきたい。
 - ・最後に、無事に第17回ふたば祭を終えることができたのは、我々大学祭実行委員会を支えてくださった多くの方々のおかげであり、心より感謝申し上げたい。



第17回ふたば祭 情報宣伝局総括

第72代情報宣伝局長 植田真央

4. 第17回ふたば祭 情報宣伝局総括

(1) 意義

- 第17回ふたば祭の開催とそれに伴う情報を主に全学生に向けて告知・宣伝する。
- ふたば祭期間中は学内外を装飾することで新入生をはじめとした来場者を視覚的に楽しませ、学祭の雰囲気づくりをする。
- 会場内の誘導の役割を持たせることによって、学祭をより楽しめる環境を提供する。



4. 第17回ふたば祭 情報宣伝局総括

(2-1) 活動:ふたば祭に関する告知・宣伝

- 3月中旬に第17回ふたば祭開催を告知する看板を下記の場所に設置した。
 - 旧教養地区正門付近
 - 生活科学部棟側南部ストリート門横



4. 第17回ふたば祭 情報宣伝局総括

(2-2) 活動:ふたば祭の内容に関する情報宣伝

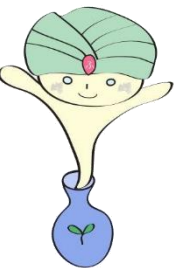
- 情報宣伝のために制作した宣伝物は以下の通りである。
 - ・ステージタイムテーブル



4. 第17回ふたば祭 情報宣伝局総括

(2-3) 活動:ふたば祭当日の設置物

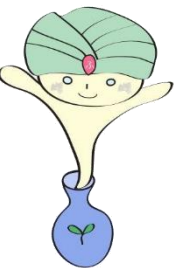
- ・ 第17回ふたば祭直前期～ふたば祭期間中に以下の製作物を設置した。
 - ・ カウントダウン装飾
 - ・ 旧教養地区正門装飾
 - ・ 会場外誘導装飾
 - ・ 8号館誘導装飾
 - ・ 8号館ステージ装飾
 - ・ 階段装飾
 - ・ メッセージ装飾
 - ・ 会場内誘導装飾
 - ・ メインステージ装飾
 - ・ 暁ステージ装飾



4. 第17回ふたば祭 情報宣伝局総括

(3) 総括

- 昨年度に引き続き新型コロナウイルスの流行による活動期間の制限や工事の影響により、例年と比べて大幅に看板の種類や設置場所に変更があった。
- 製作期間が非常に限られていたため、学祭当日の雰囲気づくりに不可欠なステージ装飾や誘導装飾を中心に製作し、ふたば祭の告知看板を削減した。ふたば祭の開催に関する告知・宣伝はSNSを中心に行った。
- 学祭の雰囲気づくりのため、メインステージ装飾を復活させた。



4. 第17回ふたば祭 情報宣伝局総括

(3) 総括

- 新歓祭としての性格をもつふたば祭を、新入生同士や新入生と部活・サークル団体がつながる機会にするため、誰もが自由にメッセージを書くことのできるスペースを設けた。
- 全体としては、製作物の設置により学内者および学外者に大学祭当日の盛況につなげることができたと思う。
- しかし、悪天候や木材の老朽化による看板の損傷が生じてしまい、安全面での課題が残った。早急に看板の修繕や製作を行い、第72回銀杏祭では耐久性を徹底的に確認したうえで設置する。

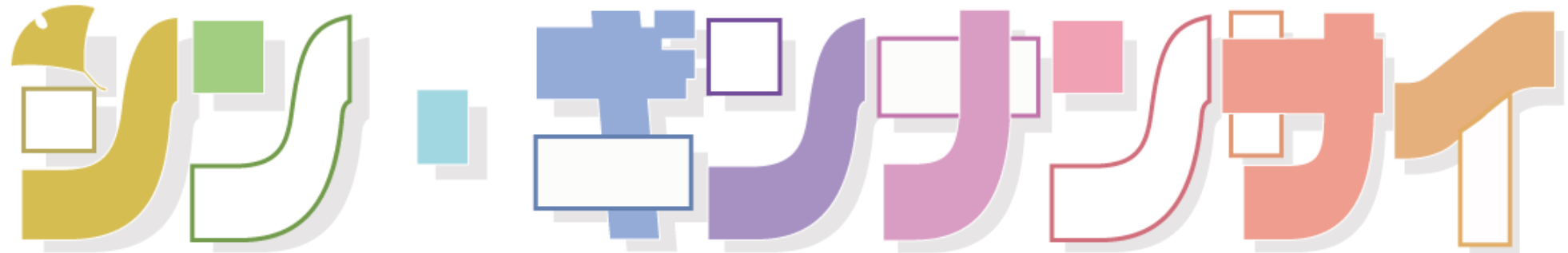


5. 第72回銀杏祭 テーマ発表

第72回銀杏祭テーマ「シン・ギンナンサイ」

大阪市立大学と大阪府立大学が統合し、大阪公立大学としては初めての銀杏祭を、これまでの銀杏祭の良かった要素を取り入れつも、革新的な学園祭にするという思いが込められている。

テーマロゴ



6. 第72回銀杏祭に関する諸連絡

- 第72回銀杏祭の開催日程

令和4年11月3日(木)～11月5日(土)の3日間

白鷺祭実行委員会がなかもずキャンパスで開催する白鷺祭は
11月4日(金)～11月6日(日)の3日間の予定とのことです。

詳細は白鷺祭実行委員会にお尋ねください。

- 開催場所

大阪公立大学杉本キャンパス 旧教養地区



7. 第2回総会に関する諸連絡

- 第2回総会 8月 10日(水)【対面開催です】
- 場所: 全学共通教育棟820教室 持ち物: 筆記用具
- 時間:
 - 13:00～15:30 文化系クラブ・サークル、音楽系クラブ・サークル
 - 16:00～18:30 体育系クラブ・サークル、その他団体

第2回総会のその場で参加申し込み書類を記入していただきますので、各団体の代表者の方は必ずご出席ください。

都合がつかない場合は、クラブ・サークルの副代表など出席者の代理を立てていただくことが望ましいです。代理が立てられない場合は、最後に説明するSlackもしくはメール(info@ginnansai.jp)にご連絡をお願いいたします。

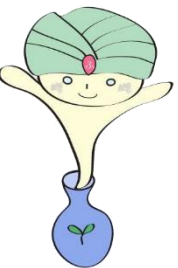


7. 第2回総会に関する諸連絡

クラブ・サークルの第72回银杏祭への参加方法

- ① 模擬店(今回は飲食店のみを模擬店とする予定です)
- ② 教室企画
- ③ ステージ出演

模擬店のみ、教室企画のみ、ステージのみ、模擬店とステージ、教室企画とステージ、という形の参加は可能ですが、模擬店と教室企画という形の参加はできません。



7. 第2回総会に関する諸連絡

出店(出展)料に関して

- ① 模擬店出店料: 9000円 (ゴミ処理代3000円含む)
- ② 教室模擬店出店料: 未定
- ③ 保証金(預り金): 5000円

模擬店出店団体: ① + ③ + レンタル用品代金

教室模擬店出店団体: ② + ③

教室企画出展団体: ③



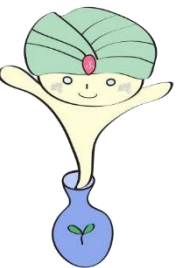
7. 第2回総会に関する諸連絡

飲食を伴う模擬店出店受付の再開について

飲食店の模擬店の出店受付を再開する予定です

しかし、銀杏祭前後のコロナウイルス感染状況などによっては、やむを得ず、模擬店出店を中止とさせていただく可能性がございます。模擬店の出店が中止になってしまった団体の、銀杏祭参加方法には以下の二つがあります。第2回総会までにご検討ください。

- ①教室企画を出展する ②教室模擬店を出展する ③参加しない



7. 第2回総会に関する諸連絡

参加申込書類について

教室企画出展希望団体

①教室企画出展申込用紙

- ・団体名・団体責任者、教室企画担当者
- ・担当者メールアドレス・電話番号(連絡のつくもの)
- ・企画内容・企画タイトル・出展日時・紹介文(70字程度)



7. 第2回総会に関する諸連絡

参加申込書類について

教室企画出展希望団体

②電力使用申請用紙

- ・使用機材・必要電力・個数

△この用紙に記入した以外の電力は使用できません。必要電力数なども調べた上で漏れのないよう必ずご記入ください。



7. 第2回総会に関する諸連絡

参加申込書類について

教室企画出展希望団体

- ③学生支援課備品貸出・教室機材使用申請用紙
学生課備品(長机・パイプ椅子・暗幕・プロジェクター)と
教室機材(プロジェクター・マイク)貸出のための申込用紙

貸出を希望される際には、貸出を希望する備品または機材の個数とその使用用途をご記入ください。



7. 第2回総会に関する諸連絡

参加申込書類について

模擬店出店希望団体

① 模擬店出店申込用紙

- ・ 団体名・団体責任者、模擬店担当者
- ・ 担当者メールアドレス・電話番号(連絡のつくもの)
- ・ 店舗名・出店品目・紹介文(70字程度)



7. 第2回総会に関する諸連絡 参加申込書類について

模擬店出店希望団体

② レンタル用品申込用紙

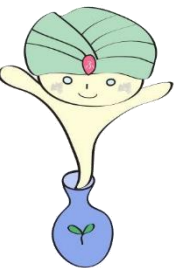
模擬店運営のため調理器のレンタル申込です。

レンタル用品・料金一覧は後日Slackにてご連絡いたします。

③ 出店品目調理工程表

模擬店に出店できる食べ物には規定がございます。

後日Slack に提示される模擬店マニュアルをご覧ください、
出店品目をご検討ください。



8. 連絡方法の変更について

これまで、杉本自治会(旧四者協)LINE、twitter、Instagramなど複数のSNSを用いてクラブ・サークルへのご連絡を行ってきました。今後は、slackというメッセージアプリを使います。※メール(info@ginnansai.jp)は今後も使用します。

クラブ・サークル内で共有・引き継ぎの可能なメールアドレスでご登録ください。移行期間は第2回総会までとします。

参加リンク・QRコード

https://join.slack.com/t/w1640011527-i60405230/shared_invite/zt-1avcuwaub-ma26hPIjM0Sl1slzkmvVVA

